

女性デジタルマーケティング人材の育成と出口戦略の 推進事業【兵庫県 豊岡市】

総事業費	3,758 千円
交付金額	2,819 千円

地域の実情と課題

- ・出産などをきっかけとする離職などによって市内の男女の収入格差が大きい。
- ・女性の経済的自立も視野に入れて、女性のデジタルエンパワーメントを市内の関係団体等と連携しながら取り組む必要がある。

事業の特徴

- ・女性デジタル人材の育成とあわせて出口戦略（就職・起業・キャリア支援など）について市内の関係団体等と連携しながら取り組む。
- ・地域内で育成した女性デジタル人材が講師にスキルアップして、次の人才培养に取り組む「女性デジタル人材の好循環」を進める。

事業の効果

- ・10名の女性デジタル人材の育成を目指し、実績としては当初の10名全員が175時間のオンデマンド方式の授業を受講終了。内2名は市内事業所でインターンシップを実施。
- ・成果：転職済・準備中2名、起業済4名・起業準備中3名、個人事業主の売上増加1名。

目的・目標

・子育てなど時間的な制約があって、就労をあきらめていた女性などをデジタルのリスクリングで掘り起こし、地域内のデジタル人材の好循環や地域の女性活躍などにつなげる。年間10名の女性デジタル人材の育成を目標。

連携団体

・豊岡市、厚労省兵庫労働局（ハローワーク豊岡含む）、豊岡市ワークイノベーション推進会議（市内111事業所）の三者で女性の就労に関する基本協定を結び、それぞれの強みを活かしながら連携して取組みを進める。さらに市内の商工団体や市経済部門との連携も。

今後の課題

- ・ミスマッチなどによるセミナー受講途中でのドロップアウトの防止や、市内事業所の経営者のデジタル化の有用性の理解を深めることなどが課題。対策→受講申込には事前説明会参加を必須。選考面談の充実や隔週1回のオンライン復習会の実施などを進める。

- ・女性がデジタルによってエンパワーメントすることを視野に、駅前の商業施設ビル内の子育て支援総合拠点（一時保育施設あり）も有効に活用しながら、デジタルマーケティングのノウハウや技術について基礎から実践までを習得できるセミナー（5カ月）を週2～3回（3～4時間／回）のオンラインのオンデマンド方式（好きな時間に録画授業を視聴）を基本に、月1～2回の対面のスクーリング方式と組み合わせて実施する。
- ・セミナー受講終了後、希望者に対しては市内の事業所での2カ月以内のインターンシップによって実践を経験しスキルアップを図る。
- ・受講期間中のメンターによる「キャリア相談」をはじめ、市役所の経済部門と連携した「起業相談IPPO TOYOOKA」や、ハローワーク豊岡と連携した「就職相談」の実施などの出口戦略をデジタルスキルの装着などの人材育成とあわせて取り組む。
- ・市内事業所の経営者向けの啓発セミナー開催などによって、育成した女性デジタル人材の受け皿づくり（就職先・インターンシップ先、取引先など）を進める。また、取組の概要がわかるPR映像を制作し市HPで公開中。



対面式のスクーリング（月1～2回実施）風景



豊岡市ホームページに掲載した10分間のPR映像
<https://www.city.toyooka.lg.jp/kurashi/1007000/1019184/1027700.html>